

「旭市都市計画マスタープラン」を策定

市では、将来を見据えた安全で快適なまちづくりを進めるため「旭市都市計画マスタープラン」を策定しました。この計画は、都市計画法に基づき「市町村の都市計画に関する基本的な方針」として市が主体となつて策定するもので、今後、市で行うさまざまな都市計画の総合的な指針となります。

全体構想

本市の将来都市像として「ひとが輝き海とみどりがつくる健康都市「旭」」を目標に掲げ、その実現に向け「都市計画」の視点から総合的、具体的な都市づくりの方針を定めています。

■将来の都市構造

J R 総武本線沿線・国道126号沿道の都市機能集積に配慮しながら、豊かな自然環境、田園環境と調和した、都市的土地利用ゾーンを配置し、地域資源を生かした拠点づくりとネットワーク型の都市構造づくりを目指します。

■土地利用の骨格

①干潟駅周辺から飯岡駅周辺にかけてのJ R 総武本線および国道126号沿いの都市機能

の集積した市街地ゾーン。

②干潟八万石を中心とした田園・農業集落が一体となった田園ゾーン。

③本市を包み込むように広がる台地上の畑地および樹林地、崖地を縁取り貴重な動植物が分布する斜面林などの緑地ゾーン。

④九十九里浜一帯の海浜ゾーン。

■拠点の形成

既存集積の活用と機能の充実により「都市拠点」「地域生活拠点」「産業拠点」「歴史・文化拠点」「健康・スポーツ・レクリエーション拠点」「医療・福祉拠点」の6つの拠点形成を目指します。

■交通体系の骨格

①東京方面へと連絡する広域的な交通需要へ対応する広域交通軸。

②市内地域間の連携強化や周辺都市との連絡機能を担う地域連絡軸。

③市街地への通過交通の流入を防ぎ、効率的で円滑な都市活動を支える市街地骨格軸。

地域別構想

地域別構想は、本市の都市の

空間構造や土地利用の同質性に着目して「市街地地域」「海岸地域」「田園・丘陵地域」の3つの地域に区分し策定しました。

①市街地地域

旭駅、飯岡駅、干潟駅のJ R 総武本線各駅を中心に、歩いて暮らすことのできる生活圏の中心となる都市拠点、地域生活拠点の形成を図ります。

②海岸地域

九十九里海岸の自然環境や生態系の保全を図り、本市の豊かな農業、水産業などの食材を生かした食文化の育成・充実や既存資源の集積を活用した観光・交流拠点の形成を図ります。

③田園・丘陵地域

本市農業の基盤でもある田園地帯と東総台地の緑の環境や斜面林、谷津田などの積極的な保全を図り、歴史、自然環境など、既存資源の集積を活用した観光・交流拠点の形成を図ります。

※現在の、都市計画マスタープランをまとめたリーフレットを、各区を通じて配布しています。

〈問い合わせ先〉

都市整備課都市計画班
☎ 62-53355

「使用期限付プレミアム商品券」を発売

使用期限を1年間とした「使用期限付プレミアム商品券」1セット（1,000円×11枚）11,000円分を、10,000円で販売します。

● 発売日時／7月4日（日）、5日（月）午前9時～午後3時（売り切れ次第終了）

● 発売場所／旭市商工会本所・各支所、干潟駅前民館

● 購入方法／購入票に必要事項を記入し、持参してください。

※購入票は、7月1日（木）の朝刊

〈問い合わせ先〉

旭市商業振興連合会
☎ 62-13348

21年度ダイオキシン類測定結果

市では毎年、環境中のダイオキシン類（コプラナーPCBを含む）の濃度を把握するため、大気、水質および土壌の調査を実施しています。

〈21年度の調査結果〉

大気の調査は旭市浄化センターおよび飯岡支所それぞれ年2回、水質の調査は新川（干潟大橋）で年1回、土壌の調査は中央児童公園で年1回行いました。その結果、いずれの調査も環境基準を下回りました。

〈問い合わせ先〉

環境課環境政策班
☎ 62-53328

平成21年度 ダイオキシン類環境調査測定結果表

項目	地点	日 時	結 果	年平均値	基準値	単位
大気	浄化センター	平成21年7月22日 ～7月29日	0.010	0.017	0.6	pg-TEQ/m ³
		平成22年1月26日 ～2月2日	0.024			
	飯岡支所	平成21年7月22日 ～7月29日	0.008	0.023		
		平成22年1月26日 ～2月2日	0.037			
水質	新 川 (干潟大橋)	平成21年9月8日	0.79		1.0	pg-TEQ/l
土壌	中央児童公園	平成22年1月29日	1.6		1000	pg-TEQ/g

※pg（ピコグラム）とは1兆分の1グラムのことです。